

**食の安全・安心と食育活動、環境保全、高齢者福祉、児童・青少年福祉及び被災地(者)支援等を実施
『一般財団法人コブみらい社会活動財団』を設立**

コブみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、6月16日（火）、社会貢献活動のさらなる発展を目指し『一般財団法人コブみらい社会活動財団』を設立しました。

『一般財団法人コブみらい社会活動財団』は、食の安全・安心と食育活動、環境保全、高齢者福祉、児童・青少年福祉及び被災地（者）支援に関する諸活動とこれらの活動への助成等を行います。“食卓を笑顔に、地域を豊かに”することに寄与することを目的とし、①「助成事業、社会貢献活動助成金事業」②「社会活動の主要なテーマに関する事業」③「環境・エネルギーに関する事業、環境保全に関わる事業」④「被災地（者）支援に関する事業」の4つの事業を中心に支援を実施します。

コブみらいは、これまで「社会貢献基金」として3億円を積み立て、「社会活動助成金」「緊急の義援金」「環境保全の取り組み」等に、積極的に取り組んできました。特に、コブみらいの前身（旧ちばコブ、旧さいたまコブ、旧コブとうきょう）時代から実施している「社会活動助成金」（社会で有益な活動・事業を推進している団体を幅広く表彰・助成）は、財団の設立により、これまでの年度ごとの断続的な取り組みから、経営に大きく左右されることのない継続的な取り組みとして基盤を強化します。

今後とも、コブみらいは『一般財団法人コブみらい社会活動財団』の事業を通じて、コブみらいのビジョン「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」の実現を目指し、地域活動の推進、諸団体との連携を推進してまいります。

『一般財団法人コブみらい社会活動財団』の概要については、次項をご覧ください。

《生活協同組合コブみらい 概要》

ちばコブ、さいたまコブ、コブとうきょうは組織合同(合併)し、「コブみらい」になりました
【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
【理 事 長】新井 ちとせ (あらい ちとせ)
【組 合 員 数】319万人 (2015年5月20日現在)
【総 事 業 高】3,702億円 (2014年度)
【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>

－ 『一般財団法人コープみらい社会活動財団』 概要 －

名 称: 一般財団法人コープみらい社会活動財団

所 在 地: 埼玉県さいたま市南区根岸一丁目5番5号

代表理事: 小林 新治 (生活協同組合コープみらい 副理事長)

※設立時は、コープみらい社会活動委員会のメンバーを中心に、理事7名(代表理事含む)、
監事2名、評議員8名で構成

主な活動:

(1) 助成事業(社会貢献活動助成金事業)

3つの助成金制度

- ・「(仮称) コープみらい地域かがやき賞」(表彰/事後助成)
地域の課題解決のための優れた活動・事業に尽力している団体に対してその功績を表彰します。
- ・「(仮称) コープみらいかがやき大賞」(表彰/事後助成)
地域かがやき賞受賞団体の中から特に優れた団体に、千葉・埼玉・東京の各都県から1団体ずつ
「(仮称) コープみらいかがやき大賞」を表彰します。
- ・コープみらいくらしと地域づくり助成 (事前助成)
くらしや文化の向上、社会発展、地域の活性化をめざす市民団体の活動・事業に対して助成します。
※助成団体の応募、選考、交付、表彰、交流等をコープみらいと協力して実施します。

(2) 社会活動の主要なテーマに関する事業

- ・「食の安全・安心と食育活動に関する事業」、「高齢者福祉」、「子ども」、「その他必要と認めた事業」

(3) 環境・エネルギーに関する事業 環境保全に関わる事業

- ・地域での「コープみらいの森」の活動支援
「コープみらい八街の森」(千葉県八街市)、「コープみらい秩父の森」(埼玉県秩父市)、
「コープみらい多摩の森」(東京都青梅市)の環境整備をすることを通じて、地域での森の活動が安全に進むようにします。
- ・行政・各環境団体・環境イベントへの協賛
緑のトラスト基金、みどり基金、大自然塾等、環境団体への支援や環境関連イベントへの協賛を行います。
- ・緑化活動への助成

(4) 被災地(者)支援に関する事業

- ・緊急の災害支援に取り組み、速やかに緊急義援金を被災地(者)にお届けします。